☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　2017

毎日新聞　平成２９年８月２０日（日）

高校生が市政アイデア

タウンミーティング 丹波市長に提案

６グループに分かれてアイデアを出し合う高校生ら
＝丹波市柏原町柏原の「たんば黎明館」で

丹波市政の課題などについて、市民と谷口進一市長が直接意見を交換するタウンミーティングが19日、同市柏原町柏原の「たんば黎明館」で開かれた。市長参加のタウンミーティング開催は市政史上初めて。市内在住の高校生28人が参加し、魅力ある市にするためのさまざまなアイデアが谷口市長らに提示された。

関西大佐治スタジオの出町慎研究員が議論の調整役を務め、環境都市工学部の学生6人も協力した。高校生たちは「丹波市を暮らし続けたいまちに」をテーマに、6グループに分かれてアイデアをまとめた後、谷口市長に向かって発表。「星の観察やスポーツ、キャンプなどを楽しめる施設の設置」「ポケモンGOのような宝探しソフトの開発」などを提案した。

谷口市長は「市議会レベルで話し合える提案もあり、真剣な議論をうれしく思う」。県立三田祥雲館高2年の村岡若菜さん(16)は「普段は考えないことを話し合えた。貴重な経験だった」と話していた。【丸井康充】